



2004. No.2 (平成16年)

国際外科学会日本部会ニュース

一般外科、消化器外科、心臓血管外科、胸部外科、産婦人科、整形外科、泌尿器科、
脳神経外科、頭頸部外科、形成外科、小児外科、耳鼻咽喉科、眼科。皮膚科、口腔外科、麻酔科等
「すべてメスを持つ者」の会

CONTENTS

日本部会関連

1. 第50回日本部会総会
 - (1) 総会の様子
 - (2) 名誉会員・特別会員の推戴
 - (3) 議事録報告
 - (4) 会計報告
 - (5) 総会会長賞(BEST PRESENTATION AWARD)の授与
 - (6) “2004 YOUNG INVESTIGATOR’S AWARD”「学会賞」受賞者決定

本部関連

1. 第34回世界総会
 - (1) 総会の様子
2. シカゴ本部役員
 - (1) 本部事務会議/本部役員の選出
 - (2) 現在役員案内
3. 第35回世界総会会告
4. アジア会議会告

ホームページの案内

現在、国際外科学会日本部会ホームページを全面リニューアルするべく作業をすすめております。より見やすく魅力的なものへと生まれ変わる予定ですのでお待ちください。全面リニューアル公開は、2005年8月末ごろを予定しております。



国際外科学会日本部会
International College of Surgeons Japan Section

▶ 国際外科学会本部

▶ お問い合わせ

お知らせ／ニュース →

概要／沿革 →

歴代会長
日本部会開催史

名誉会員／特別会員 →

日本部会役員 →

役員
理事
幹事
顧問・アドバイザー

各種役員会委員 →

本部役員活動 →

会則
会員名簿

入会／会員制度 →

入会申し込み書PDF
Fellowへの移行／
シニア会員について
スカラシップ制度

MUSEUM →

TOPページ →

お知らせ／ニュース

国際外科学会日本部会ニュース/バックナンバー

更新日 2005.07.01

NEW 2005.07.01
国際外科学会日本部会サイトをリニューアルしました。

NEW 2005.07.01
第34回世界総会の開催日が変更になりました。
詳細はこちらをご覧ください。 →

NEW 2005.07.01
第51回国際外科学会日本部会総会ご案内。 →

2004 No.3 →
第51回国際外科学会日本部会総会のご案内
第34回世界総会の報告

2004 No.2 →
ここに内容が入ります

2004 No.1 →
第50回国際外科学会日本部会総会のお知らせ
MUSEUM-日本外科殿堂が新装されました

2003 No.2 →
高崎会長就任御挨拶
第49回日本部会総会の報告

2003 No.1 →
第50回国際外科学会日本部会総会のお知らせ
International Executive Council Member
(2003 - 2004)

International College of Surgeons Japan Section
 東京女子医科大学 消化器病センター内 国際外科学会日本部会 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
 Tokyo Women's Medical University Institute of Gastroenterology
 8-1 Kawada-cho Shinjuku-ku Tokyo Japan 〒162-8666
 Tel:03-3353-8111 Ext.25229 Fax:03-3358-1424 Mail:ics-japan@info.email.ne.jp

1. 第50回日本部会総会

(1) 総会の様子 第50回日本部会総会盛会に終了(於:久留米)

第50回日本部会総会は、白水和雄教授(久留米大学外科)総会会長のもと、2004年(平成16)6月19日久留米の翠香園ホテルにおいて開催されました。特別講演者として イタリア、ミラノからERMANNIO LEO教授が来日され“Sphincter Saving Surgery”を講演されました。今回は50回という大きな節目でしたので、特別講演として、和田寿郎教授(札幌医科大学名誉教授)が“THE 50th MEMORIAL SPECIAL LECTURE”を講演くださいました。

特別企画では、“The 50th Memorial Luncheon Seminar”として、川原克信教授(大分医科大学第2外科)が“Tracheoplasty for Lung Cancer”、橋爪誠教授(九州大学大学院災害・救急医学講座)が“Robotic Surgery”をご講演されました。シンポジウム“Function Saving Surgery for Gastrointestinal Cancer”では、矢野雅彦先生(大阪大学大学院病態制御外科)が“Larynx preserving Surgery for Cervical Esophageal Cancer”、中根恭司先生(関西医科大学第2外科)が“Postoperative evaluation of pylorus-preserving gastrectomy for early gastric cancer”、齊藤典男先生(国立がんセンター東病院、大腸肛門外科)が“An active approach to avoid abdominoperineal resection in very low rectal cancer patients”をご講演くださいました。

一般演題は59題(内6題が日本で勉強中の留学生の方々の発表)で、優秀な5題に総会会長賞(BEST PRESENTATION AWARD)が授与されました。

すべての一般演題に対しては、外人コメンテーターから発表についてコメントがありました。この試みは第47回から実施されておりますが、プレゼンテーションの勉強に非常に役立っております。留学生への呼び掛けも今回で第8回となり、会場ではさまざまな国から来日し学ぶ若い医師の姿がみられました。本会の開催は白水教授、緒方裕助教授、青柳慶史郎先生そして、久留米大学医学部外科教室のご尽力によるものでした。

(2) 名誉会員・特別会員の推戴

本会の為に永年にわたり、ご尽力いただいた次の先生方が推戴されました。

【特別会員】

川原田嘉文

(三重大学医学部名誉教授)



鈴木宏志

(三重大学名誉教授)

松浦雄一郎

(広島大学医学部名誉教授)



山川達郎

(帝京大学医学部名誉教授)



(3) 議事録報告 平成16年度(2004)第1回国際外科学会日本部会理事・幹事会議事録(要約)

日時:平成16年6月18日(金) 17:30-18:30 場所:翠香園ホテル、福岡県久留米市

1. 事務報告・会計報告:山本常任幹事が報告。(会計報告は別添参照)

平成15年12月31日現在日本部会会員は548名。

物故された、故綾部公懿(アヤベヒロヨシ)先生、故馬場正三先生、故吉崎 聡先生のご冥福を祈って黙祷した。

2. 合同委員会からの報告と協議事項:高崎会長が報告。

(1) 組織委員会関連:

- 1) 来期の日本部会役員、委員会委員は、炭山先生の組織委員会で(案)を作成。
 - 2) 来期のシカゴ本部役員への推薦:理事・幹事会で承認を得、推薦リストを本部に提出する。
 - 3) 日本部会名誉会員、特別会員の推薦:日本部会特別会員に伊藤國彦先生が推薦された。
 - 4) シカゴ本部名誉会員の推薦:薬師寺道明先生を推薦を本部に提出する。
- (2) 財務委員会関連
- 1) 会費請求について:Fellowの会費は、未納分に関しては日本部会で立て替えて、シカゴ本部に送金。年会費の納入率を上げる為に3回(1、3、10月)請求する。
 - 2) 企業寄付について:新たに「The Japan Surgery - Hall of Fame」の維持費 "を全面に出して、寄付を依頼。
- (3) 将来検討委員会関連
- I. 会のプロパガンダ
 - 1) ホームページの活用: 2) ニュースの再開: 3) ジャーナル (International Surgery)の充実を本部に要求の3点。
 - II. 学術集会開催
 - 1) 外科系連合とのジョイントを検討:2)留学生調査の実施の2点
 - III. 会員の増加対策として学術総会の発表者及び共同演者に入会を依頼。
- (4) 国際交流委員会関連:世情不安の為に休止
生涯教育委員会関連:1) 英語での発表2) ジャーナル(International Surgery)への投稿の増加3) 本部スカラシップ申し込みの勧誘の3点。
- (6) 規約委員会:
- (7) 「The Japan Surgery - Hall of Fame」選考委員会及び学会賞選考委員会高田委員長が説明。
- 1) 進行状況報告
 - 2) 本年の中山恒明賞の受賞者杉町圭蔵先生を追加。
 - 3) “Young investigator Award”の選出方法について:本日も演題発表者の中から“Best Presentation Awards”が贈呈される。その中3名に贈呈する。受賞者は“ICSのFellowであることを条件とする”
 - 4) 「The Japan Surgery - Hall of Fame」顕彰者の選考基準等について:
 - (1) 内容:オリジナリティーのあること。
 - (2) 基準:日本が世界に誇れること。
 - (3) 展示枠:20~25の枠がある。今回の推薦から10程度を選ぶ。
 - (4) 展示の方法:A4版の銅版のプレート左側に顔写真(白黒)、氏名、所属 (当時)、右上に図、右下に仕事の概要を記す。1件あたり、10万円は顕彰される本人にご負担いただく。また、ICSのFellowであることが条件。会員でない場合は入会いただく。《1》負担の了解なし《2》故人の2点が未解決。
- 今回の顕彰者は、No.2 (Itaru Oi), No.16 (Tatsuro Uji), No.21 (Kazuei Wagai), No.7 (Kenji Takagi), No.10 (Morio Kasai), No.11 (Kazuo Honjo故人), No.8 (Kouichi Tanaka & Kazue Ozawa -京大グループとする)、婦人科(選考中)を含め計10名。中山恒明先生はすでに顕彰済み。なお5)「The Japan Surgery - Hall of Fame」華岡青洲先生の展示方法6) Opening Ceremonyの2点を協議。Opening Ceremonyを今年の11月20日(土)シカゴにて行う予定。その後来年3月19日に変更。
3. 第51回日本部会総会会長:平田公一教授(札幌医科大学第1外科)が平成17年(2005)5月28日(土)、京王プラザホテル札幌にて開催予定。
 4. 第52回日本部会総会会長:高田忠敬教授(帝京大学外科)が平成18年(2006)開催
 5. 第34回世界総会(2004年、エクアドル):2004年10月6日~10日、エクアドルのキト市にて開催される。学会前日事務会議が開催され、役員選挙が行われる。
 6. 新会員入会依頼:学会での発表者(筆頭者および共同演者)に入会を依頼。

(4) 会計報告

会計報告(国際外科学会日本部会)
自 平成15年 1月 1日
至 平成15年12月31日

経常収入の部

(単位:円)

科 目	平成15年度予算案	平成15年度実績	平成16年予算案
前期繰越	5.856.302	5.856.302	5.695.474
入会金	10.000	5.000	10.000
会費収入	7.800.000	6.825.000	6.800.000
施設会費			
賛助会員収入	2.400.000	2.200.000	2.400.000
寄付金収入			
広告収入			
受取利息等	50.000	1.228	10.000
	16.116.302	14.887.530	14.915.474

経常支出の部

(単位:円)

1. 米国本部送金

科 目	平成15年度予算案	平成15年度実績	平成16年予算案
入会金	100.000	65.169	50.000
会費	3.000.000	2.573.931	2.500.000
	3.100.000	2.639.100	2.550.000

2. 日本部会運営費

(単位:円)

科 目	平成15年度予算案	平成15年度実績	平成16年予算案
日本部会総会補助費	500.000	500.000	500.000
留学生補助費	200.000	200.000	200.000
会議費	100.000	173.093	150.000
給料手当	4.000.000	3.840.000	3.840.000
法定福利費	450.000	417.988	450.000
旅費交通費	150.000	118.180	120.000
国際会議出張費	300.000	0	100.000
通信費	300.000	249.783	250.000
印刷コピー費	150.000	202.665	200.000
事務用品費	50.000	52.972	50.000
会計顧問料	222.222	222.222	222.222
中小企業退職積立金	240.000	240.000	240.000
日本部会ニュース代	100.000	0	0
ホームページ広報費	150.000	286.205	200.000
支払手数料	15.000	2.730	10.000

2. 日本部会運営費

(単位:円)

科 目	平成15年度予算案	平成15年度実績	平成16年予算案
備品消耗品	10.000	33.453	30.000
雑費	50.000	13.665	50.000
予備費	50.000	0	50.000
小計	7.037.222	6.552.956	6.662.222
経常支出合計	10.137.222	9.192.056	9.212.222
差引次期繰越金	5.979.080	5.695.474	5.703.252

次期繰越金の内訳

みずほ銀行当座預金	4.370
郵便振替貯金	750.000
郵便定期貯金	5.330.000
UFJ銀行普通預金	3.096.599
UFJ銀行普通預金賛助口	1.600.005
源泉所得税預かり金	-85.500
基本金	-5.000.000
差し引き計	5.695.474

(5) 総会会長賞(BEST PRESENTATION AWARD)の授与

1. Vladimir Valera 新潟大学第1外科
2. 福田賢一郎 京都府立医科大学消化器外科
3. Masahiro Okamoto 九州大学生態防御医学研究所外科
4. 吉崎 陽 岩手医科大学産婦人科
5. 吉邑 由佳 東京女子医科大学第二外科

(6) “2004 YOUNG INVESTIGATOR AWARD” 「学会賞」受賞者決定

「学会賞」は次ぎの方に決定しました。受賞者は氏名、所属、そして、学会での発表演題が、国際外科学会シカゴ本部外科歴史博物館『日本外科殿堂』に銅板に刻まれ、顕彰されました。

Ken-ichiro FUKUDA

**Division of Digestive Surgery, Kyoto
Prefectural University of Medicine**



福田賢一郎

**Characterization of Radioresistant Human Esophageal Cancer
Cell Lines in vitro**

Masahiro OKAMOTO

**Department of Surgery, Medical Institute of Bioregulation,
Kyusyu University**

**Specific Gene-expression Profiles Associated with
Multicentric Occurrence of Hepatocellular Carcinoma Predict
Intrahepatic Recurrence after Curative Hepatectomy**

Akira YOSHIZAKI

**Department of Obstetrics and Gynecology,
Iwate Medical University**



吉崎 陽

**Study of positron emission tomography for assessment of
gynecologic malignancy**

——本部関連——

1. 第34回世界総会



常任幹事 山本雅一

(1) 総会の様子

第34回世界総会が、南米のエクアドルの首都、キトにて開催されました。

ICS世界総会に参加して

第34回世界総会がエクアドルキトにて平成15年10月6日から10日まで開催された。キトは赤道直下にもかかわらず3000m以上の高地にあるために気候が温暖であることが知られている。また夜間日中の気温差が大きいこと、さらに盆地であることから朝晩霧が発生しやすい。ふだん半分の飛行機が着陸できず、海沿いの飛行場に夜間着陸し、翌日日にキトに着くなど当たり前のことだそうである。幸い私たちの便は、霧の中を無事に着陸したが、医局員が乗った翌日便は濃霧のため着陸ができず、翌々日着となった。また、医局員の一部は高山病となりホテルで酸素吸入を受けることとなった。高山病のときは少しでも高度を下げる必要があり、タクシーにて500m以上高度が下の町に下りることとなった。断崖絶壁の道路をキトから下がる気分はさながら空中都市から下界に降りる感覚であった。

総会に先立ち、本部役員改選が行われた。初めてのことでとまどうことが多く、また英語もわかりにくい会議用語が使われていた。役員選挙の結果は別紙のとおりである。朝から始まり、ようやくのことで選挙が終わったのは夜のパーティの直前で、会議が終わったのかわからないまま懇親会へ突入した。パーティ会場では長いスピーチの後、ラテン系音楽が延々と続き、終わるとワインとおつまみで暗いホールでの懇親会となった。

離陸の日、早朝出発の便は霧のため前日に到着しておらず、出発が昼ごろになるとのアナウンスがあり、数時間キトの町の散策が可能となった。古い町並み、丘から望むキト盆地の遠景、その丘に立ち並ぶ家並み、アンデス山脈など雄大な景色であり印象深いものがあった。南米へは片道約2日、往復4日は最低必要である。その他の南米の都市もゆっくりと回れる余裕もほしいが、アクセスの良い都市での総会開催を望む。

2. シカゴ本部役員

本部事務会議/本部役員の選出:学会前日の“Board of Governors Meeting”において次ぎのInternational Officersが決定しました。

【選出された先生】

Three Additional Members (Term 2003-2006)

Prof. Ken Takasaki, Japan



Prof. Mitsuru Sasako, Japan



16 Vice Presidents

Prof. Hiroyuki Hirasawa, Japan



30 Additional Governors

Prof. Kota Okinaga, Japan



Prof. Tadahiro Takada, Japan



Prof. Tetsuya Tamaki, Japan



INTERNATIONAL OFFICERS 2005 - 2006 International Executive Council Members

President Prof. Nadey Hakim, United Kingdom

President Elect Dr. Fidel Ruiz-Healy, Mexico

Imm. Past President Dr. Raymond A. Dieter, Jr., USA

First Vice President Prof. Jose M. Alvear, Ecuador

Corporate Secretary Prof. Christopher Chen, Singapore **Treasurer** Dr. Said Dae, USA

Six Federation Secretaries

Africa Prof. Adel F. Ramzy, Egypt **Asia** Prof. Narendra Pandya, India

Europe Prof. Rocco Maruotti, Italy **Latin America** Dr. Marcelo de Oliveira, Brazil

North America Prof. Paul Belliveau, Canada **Pacific** Dr. Nopadol Wora-Urai, Thailand

Three Additional Members (Term 2003-2006)

Dr. Chen-Hsen Lee, Taiwan, ROC

Prof. Mitsuru Sasako, Japan

Prof. Ken Takasaki, Japan

Four Additional Members (Term 2005-2008)

Dr. H. S. Bhanushali, India Dr. Phyllis Bleck, USA Dr. Carmencita Gotauco, Philippines

Prof. Dirk Loose, Germany

INTERNATIONAL OFFICERS 2005-2006

16 Vice Presidents

1. Dr. Gabriel Bucio, Mexico

2. Prof. Alberto del Genio, Italy

3. Dr. Antonio Gentil Martins, Portugal

4. Prof. Paul Hahnloser, Switzerland

5. Prof. Milos Hajek, Czech Republic

6. Prof. Hiroyuki Hirasawa, Japan

7. Dr. George Kuzycz, USA

8. Prof. Rene Lafreniere, Canada

9. Dr. Marcelo Navajas, Bolivia

10. Dr. Enrico Nicolo, USA

11. Dr. Luis Pacheco-Ojeda, Ecuador

12. Dr. Adib Sabbagh, USA

13. Dr. J.C. Serrato, USA

14. Dr. Joel Teplinsky, USA

15. Dr. Vithya Vathanophas, Thailand

16. Prof. Helge Wenzl, Germany

9. Dr. H. G. Doctor, India

10. Dr. N. Dorairajan, India

11. Dr. Ricardo Fretes, Paraguay

12. Dr. Jos L.Hernandez, Mexico

13. Prof. Yik-Hong Ho, Australia

14. Dr. Manuel Huaman, Per

15. Dr. Refaat R. Kamel, Jr., Egypt

16. Dr. Jacques Lambert, Canada

17. Dr. Vijay Mittal, USA

18. Prof. Kota Okinaga, Japan

19. Dr. N. K. Pandey, India

20. Dr. Dinesh Ranjan, USA

21. Dr. Jorge Rodriguez, Argentina

22. Dr. Arno Roscher, USA

23. Dr. Victor Ruiz C., Costa Rica

24. Dr. Sibu Saha, USA

25. Dr. Larry Sasaki, USA

26. Dr. Jorge Sosa G., Mexico

27. Prof. Tadahiro Takada, Japan

28. Prof. Tetsuya Tamaki, Japan

29. Dr. Y. Vajaradul, Thailand

30. Dr. Wickii Vigneswaran, USA

30 Additional Governors

1. Prof. Antonio Alarco, Spain

2. Dr. Maria Almeida, Portugal

3. Dr. Joseph Bachica, USA

4. Dr. Juan Barron, Mexico

5. Dr. Roberto Bonelli, Argentina

6. Dr. Edouard Bontemps, Haiti

7. Dr. Paolo Cajano, Great Britain

8. Prof. F. de la Cruz Vigo, Spain

4 Representatives at Large

1. Dr. Edward B. Attah, Nigeria

2. Dr. Paolo Kassab, Brazil

3. Dr. Leo Stam, Netherlands

4. Dr. Yong-Kwang Tu, Taiwan, ROCA

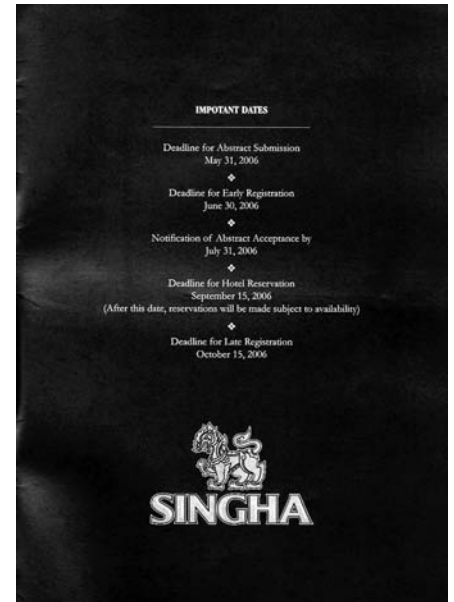
3. 第35回世界総会会告

第35回世界総会は、2006年下記のようにタイのプーケットで開催されます。ご発表の希望があれば、事務局までお申し出ください。優先的にプログラムに組んで頂く様プログラム委員会に連絡いたします。

会 期：October 25-29, 2006
場 所：Pattaya, Thailand
演題メ切り：May 31 2006

October 22-26, 2006 XXXV ICS World Congress Pattaya, Thailand

Contact: ICS, Thailand Section
Dr. Vithya Vathanophas
2 Soi Soonvijai
Petchburi Road
Bangkok 10320, Thailand
Tel/Fax: 66-2-716-5957
E-mail: sivvn@mahidol.ac.th



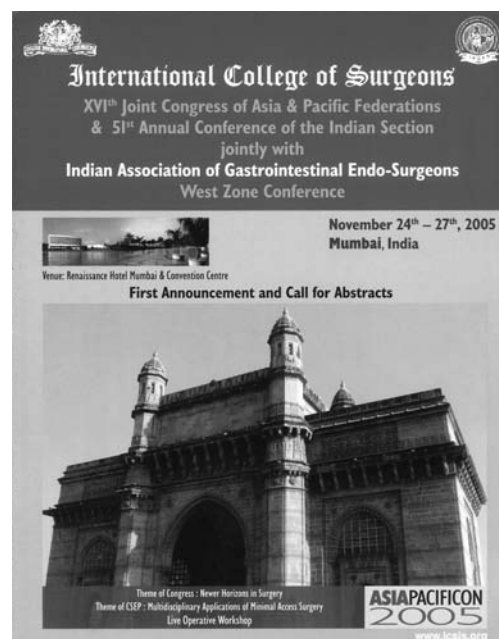
4. アジア会議会告

2005年11月24日から27日まで、下記のようにインドのムンバイにて、国際外科学会アジア・太平洋地区会議が開催されます。

November 24-27, 2005

XVI Joint Congress of Asia and Pacific Federations and 51st Annual Conference of the Indian Section
Mumbai, India

Contact:
Dr. H. S. Bhanushali
Organizing Chairman, ASIAPACIFICON2005
ICS, Indian Section
I.M.A. House, 16 Keshav Rao Khadye Marg,
Haji Ali, Mumbai 400 034, India
Tel: 91.22.2493.4358/5604 5739
Fax: 91.22.2541.6449
Email: icsis@rediffmail.com
Website: www.icsis.org/asiapacificon/index.htm



INTERNATIONAL SURGERY
Official Journal of the International College of Surgeons



WHY YOU SHOULD **SUBSCRIBE** TO INTERNATIONAL SURGERY

- The truly global scope of our publication makes this journal unique among other resources, bringing the world of surgical advances to you.
- Because of the increasing number of approved articles, the journal is published bimonthly. In addition, in 2005 we will publish two additional supplemental issues, at no extra charge, targeted to specialty areas in surgery.
- Internationally respected peer review committee composed of surgeons from numerous countries.
- It is truly a resource to which all practicing surgeons, surgical interns, and researchers should have quick and easy access (ISSN 0020-8868).

WHY YOU SHOULD **ADVERTISE** IN INTERNATIONAL SURGERY

- International Surgery is an outstanding periodical that gives you the unique opportunity to achieve a global awareness of the products in your company.
- Rates are very competitive.
- Our Journal is read by surgeons in over 117 countries worldwide.

INTERNATIONAL SURGERY
BIMONTHLY
TWO SUPPLEMENTAL ISSUES

I am interested in: **subscribing** to International Surgery
 advertising in International Surgery

Name _____
(Please print)

Address _____

City _____ State _____ Postal Code _____ Country _____

Fax # _____ E-mail _____

Subscription Rates: US\$135.00 (Individual) – US\$190.00 (Hospital, Institution, Library)
Special Discount for Agencies

Make checks payable to *International College of Surgeons*

Enclosed is a check for the amount of US\$_____

Charge US\$ _____ to the following credit card: Visa MasterCard
 American Express

Credit card no. _____ Expiration date _____

Signature _____

Please mail or fax this form to: International College of Surgeons
1516 N. Lake Shore Drive, 3rd Floor, Chicago IL 60610 USA
Fax: 1.312.787.1624; E-mail: info@icsglobal.org

I C S
Japan Section



〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学消化器病センター内
Tel (03) 3353-8111 ext.25229
E-mail: ics-japan@info.email.ne.jp
Fax (03) 3358-1424